

自ら学びたくましく未来を拓く生徒の育成
～キャリア教育に基づいた体験活動を通して～
阿東町立阿東東中学校

学 校 の 概 要

① 学校規模

- 学 級 数：4学級
- 生 徒 数：87人
- 教 職 員 数：12人
- 活動の対象学年：全学年（87人）

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 本町は、山口県の東北部中国山地の山あい位置し、長門富士と讃えられる十種ヶ峰の麓に広がる純農村地である。国道9号線が町内を縦断しており、交通の便もよい。自然環境に恵まれ、稲作やりんご、なしなどの果樹栽培が盛んである。冬季は積雪が多く、スキーなどの野外活動に最適な地である。
- 本校は、阿東町の政治・経済・産業等の中心地である徳佐地区にあり、近くには山口県立徳佐高等学校がある。基幹産業が農業であり、過疎化・少子高齢化が進み、生徒数は年々減少している。
- 地域住民は、学校教育への関心が高く、とても協力的である。職場体験学習の受け入れやしめ縄づくりの指導など快く引き受けていただいている。

③ 連絡先

- 〒759-1512
阿武郡阿東町大字徳佐中3288-1
- 電 話：083-956-0039
- F A X：083-956-0279
- E-mail：ato-h@c-able.ne.jp

体 験 活 動 の 概 要

① 活動のねらい

- 中一のつどいなどの自然体験活動
 - ・ ふるさとの象徴十種ヶ峰を舞台に、「森のチャレンジコース」やスキー実習を行い、豊かな自然に親しむ。
 - ・ 日本海の海に親しみ、海洋体験やカッター訓練を行うことで、自然の美しさ、厳しさを体験する。
- りんご収穫などの勤労生産体験活動
 - ・ りんご収穫、ジャム加工やジュースづくりを通して、勤労の楽しさ、収穫の喜びを味わう。
- 職場体験などの就業に関わる体験活動
 - ・ 地元の企業や事業所で職場体験を行うことにより、働くことへの関心や意欲を育むとともに人間関係形成能力や将来設計能力等を養う。
- 文化や芸術にふれあう体験活動
 - ・ 郷土の自然美にふれながら創造の喜びと美術を愛好する心を育てる。
 - ・ プロ歌手の歌声や韓国の伝統芸能にふれることで感動の喜びを体感する。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 自然体験活動
(特別活動24時間)
- 勤労生産体験活動
(総合的な学習の時間8時間)
- 職場体験など就業に関わる体験活動
(総合的な学習の時間20時間)
- 文化や芸術にふれあう体験活動
(教科6時間・特別活動18時間)
(総合的な学習の時間8時間)

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

- ① 日本の美しい自然や芸術にふれることで豊かな情操を育み、自然体験を通して感動する心を育てる。
- ② 勤労生産活動や講演会を通して、働くことへの関心や意欲を育み、将来の進路への展望をもつ。
- ③ 異世代間、異校種間の交流活動を通して、知恵や知識を伝え合うとともに社会性を養う。



【生き方講演会】

(2) 全体の指導計画

| 体験活動 | 実施学年 | 活 動 内 容 | 教育課程上の位置付け | 期間等 |
|-----------------------------------|------|------------------------------------|------------|--------------------|
| 中一のつどい | 1年 | 町内2校の中学校1年生が十種ヶ峰で宿泊研修を行い、交流を深める。 | 特別活動 | 6月 1泊2日 12時間 |
| りんご収穫・加工体験 | 1年 | 徳佐高校の高校生、教職員とともにりんごの収穫を行い、加工食品を作る。 | 総合的な学習の時間 | 10～11月 4時間 |
| 座禅体験 | 1年 | 地元のお寺で座禅を体験し、講話を聞く。 | 総合的な学習の時間 | 1月 3時間 |
| スキー教室 | 1・2年 | 十種ヶ峰でスキーに親しみ、技術の向上を図る。 | 保健体育 | 1月 6時間 |
| 長門峡スケッチ大会 | 1・2年 | スケッチを通して創造の喜びを味わう。 | 美術 | 11月 6時間 |
| 職場体験学習 | 2年 | 地元の企業、事業所で職場体験を行う。 | 総合的な学習の時間 | 10月 18時間 |
| 油谷宿泊研修 | 2年 | 油谷青年の家でカッター研修を行い、海の厳しさや協力の大切さを味わう。 | 特別活動 | 6月 1泊2日 12時間 |
| 関西修学旅行 | 3年 | 古都の伝統文化を見聞することで、日本文化に対する敬愛と見識を深める。 | 特別活動 | 4月 2泊3日 18時間 |
| 生き方講演会 ふれあいコンサート キャリアシンポジウム | 全学年 | 講師の生き方を知ること、将来の夢の実現に向けての意欲と態度を育む。 | 総合的な学習の時間 | 7～11月 6時間 |
| 日韓交流会 | 全学年 | 韓国の高校生と交流し、国際理解を深める。 | 総合的な学習の時間 | 7月 2時間 |
| さつま芋植え 収穫 | 全学年 | 保育園児とともに芋植え、収穫を行い交流を深める。 | 総合的な学習の時間 | 6月10月 4時間 |
| 輪飾り作り | 全学年 | 輪飾り作りを通してお年寄りとのふれあいを深める。 | 総合的な学習の時間 | 12月 2時間 |

2 活動の実際（キャリア教育をベースにした活動）

(1) 生き方講演会（講師：早稲高等学校 大越 基 先生）

① ねらい

- ・講師の豊富なキャリアを拝聴することで、自己の生き方を見つめ直すとともに、将来の夢の実現に向けて、自らのモチベーションを高める。
- ・講演会の話を中心して誠意をもって聴き、質問したいことが進んで言えるなどのコミュニケーション能力を磨く。

② 活動の展開

7月5日(木)の5・6校時、本校体育館で、ゲストティーチャーとして早稲高等学校の大越基先生をお迎えして、生き方講演会を実施した。大越先生は仙台育英高校のエースとして甲子園で活躍し、夏の選手権大会では準優勝投手となった。早稲田大学へ進学後、事情により中退し渡米。1Aサリナスを経て福岡ダイエーホークスに入団し、11年間プロ野球選手として活躍。その後、東亜大学で教員免許を取得し、2007年4月より早稲高等学校で保健体育教諭として勤務されている。

野球の話が中心であったが、大越先生の豊富な体験を基に講演していただき、その後生徒との質疑応答を行った。最後に、プロ野球選手のユニフォームやグローブ、バットなどを見て生徒は目を輝かせていた。

(2) ふれあいコンサート(講師:演歌歌手 あさみちゆきさん)

① ねらい

・歌手「あさみちゆき」の生き方と彼女の心に響く歌を聴くことで、今の自分を見つめ、将来に向けてのモチベーションを高め、自分らしい生き方を求めようとする意欲と態度を育む。

・ふれあいコンサートを開催することで、地域に開かれた学校としての役割を担い、地域の方々にもすばらしい感動を味わっていただくとともに、明日への活力を高める場を提供する。



【ふれあいコンサート】

② 活動の展開

11月1日(木)の5・6校時、本校体育館で、演歌歌手あさみちゆきさんをお迎えしてふれあいコンサートを開催した。あさみさんは山口県光市の出身で、高校卒業後歌手をめざして上京したが、数々のオーディションを受けるもことごとく失敗。その後ストリートミュージシャンとして「井の頭公園」で歌い始め、演歌歌手としてデビューを果たした。

コンサート当日は、特別養護老人ホームや老人ホームの入居者をはじめ、町内外の方々や保護者も多数来校され、あさみさんの澄んだ歌声に聞き惚れていた。司会進行は生徒会執行部の男女2名が務め、曲の合間のトークは質問に答える形で行った。

(3) キャリアシンポジウム(講師:阿東町内の起業家3名)

① ねらい

・町内の起業家を招き、シンポジウム形式で生徒個々のコミュニケーション能力の育成を図りながら職業観や勤労観を養う。

② 活動の展開

11月16日(金)の5・6校時、本校ランチルームで、地元の起業家3名をお招きしてキャリアシンポジウムを開催した。まず、それぞれのゲストティーチャーから現在の仕事内容と起業に至るまでの過程を話していただき、質疑応答を交えながら会を進めた。生徒の感想からは、仕事や働くことの意義を感じ取っていることがうかがえた。

(4) 事前指導

講師の先生のプロフィールを全校生徒に事前配布し、質問事項をアンケート調査した。

(5) 事後指導

実施後、学級活動の時間を利用して、アンケート調査及び感想文をまとめた。

3 体験活動の実施体制

(1) 学校支援委員会

体験活動の渉外窓口は校長、教頭が務め、企画・運営には教務主任、研修主任、PTA会長が携わることとし、学校評議員に運営助言を依頼した。それぞれの体験活動には、各学年部が主体的に取り組んだ。

(2) 配慮事項等

各体験活動の実施に当たっては、事前に保護者へ承諾を得て実施している。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

(1) 自己評価と相互評価

体験活動の実施後に、振り返りシートを活用して自己評価を行っている。また、生徒相互が活動状況の評価するようにしている。

(2) 教師の観察による評価

それぞれの生徒の体験活動の様子を教師が観察し、評価を行っている。

(3) その他の評価

各学年で体験学習発表会を行い、保護者や地域の人に授業評価表を記入してもらうようにしている。

5 活動の成果と課題

(1) 活動の成果

① 中一のつどいなどの自然体験活動

自然の中で活動することで、自然の美しさや厳しさを学ぶことができた。同時にクラスの仲間や他の中学校との交流により、自他の理解能力やコミュニケーション能力を育むことができた。

② りんご収穫、加工などの勤労体験活動

地元の特産物であるりんご収穫、加工を体験することで、ふるさとへの関心を深めるとともに、勤労生産の喜びを感じることができた。また、高校生や高校の教員と一緒に活動する中で地元高校が身近な存在となり、進路選択の意識付けにもなった。

③ 町内事業所での職場体験活動

町内の8事業所での3日間連続の職場体験活動を通して、働くことの意義を学ぶとともに、自他の理解能力やコミュニケーション能力、職業理解能力を伸長する学習となった。また、生徒の姿を地域の人々へ見ていただく貴重な機会ともなった。

④ 文化や芸術にふれ合う体験活動

長門峡でのスケッチ大会やしめ縄作り、座禅体験などを通して、郷土の文化的遺産を見直す学習ができた。また、プロ歌手の歌声と生き方にふれることで夢をもつことの意義と感動を得ることができた。

(2) 今後の課題

本年度は、これらの体験活動の実施に当たって、キャリア教育の視点から事前指導や活動内容、評価、事後指導などを工夫した。つまり、体験活動を計画する際には、キャリア教育で育成すべき4つの能力のいずれかをねらいに置いたのである。そして、外部講師として魅力ある人や地域の人を招き、講演会等を実施した。今後も地域や関係機関との連携を密にして、キャリア人材バンクとして活用したい。そして、学習過程や学習成果を家庭、地域に公開するとともに、地域に還元していく方法も考えていきたい。